

プリンター共有設定

～ 64bit プリントサーバーに 32bit プリンタードライバーを追加する方法 ～

本ガイドでは、64bit プリントサーバーに、32bit プリンタードライバーを追加インストールする方法を説明します。32bit プリントサーバーに、64bit のプリンタードライバーを追加インストールする場合は、以下の手順において「64bit」と「32bit」をそれぞれ読み替えてください。

前提条件・注意点

- 64bit プリントサーバーに、32bit プリンタードライバーを追加インストールする場合、クライアント PC は Windows Vista 以降の 32bit OS をご用意ください。なお、Windows XP (32bit) にはインストールできません。
- Windows 8/Server 2012 以降の 64bit プリントサーバーに、32bit プリンタードライバーを追加インストールする場合、自身の OS 内に ntprint.inf を持っているため、32bit OS を用意する必要はありません。
- OS のバージョンや機種によって、イメージ画面やメニュー表示が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。
- ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバー機とクライアント機が同一セグメント内にあることが前提です。
- 本ガイドでは、プリントサーバー機 : Windows 7 (64bit) に、クライアント PC : Windows Vista (32bit) をインストールする場合を例に説明します。

目次

1. クライアント PC へのドライバー導入
2. 追加ドライバーのインストール方法

.....

1. クライアント PC へのドライバー導入

32bit クライアント PC に、以下の手順で 32bit ドライバーをインストールします。

- ① 既にドライバーが導入されている場合は、「サーバーのプロパティ」からドライバーの削除を行ってください。

-
- ② 最新のドライバーをダウンロードして、解凍します。

-
- ③ クライアント PC にドライバーをインストールします。

Memo

ドライバーのインストール手順については、下記 URL をご参照ください。

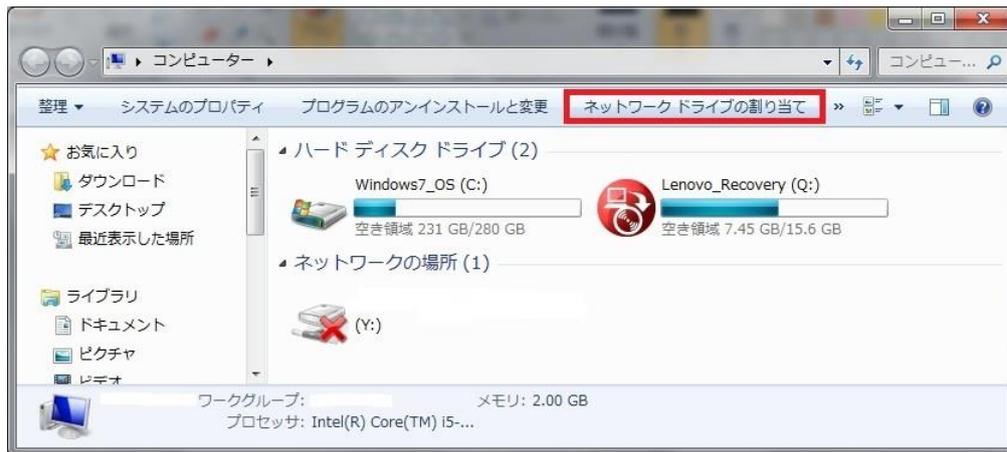
Windows Vista : http://www.jbat.co.jp/support/hw_support/windows/windows_dw/dlsrdrv/vdrvs/v1000/Inst_Guide_WVista_Rev2.pdf

2. プリントサーバーへの追加ドライバーのインストール

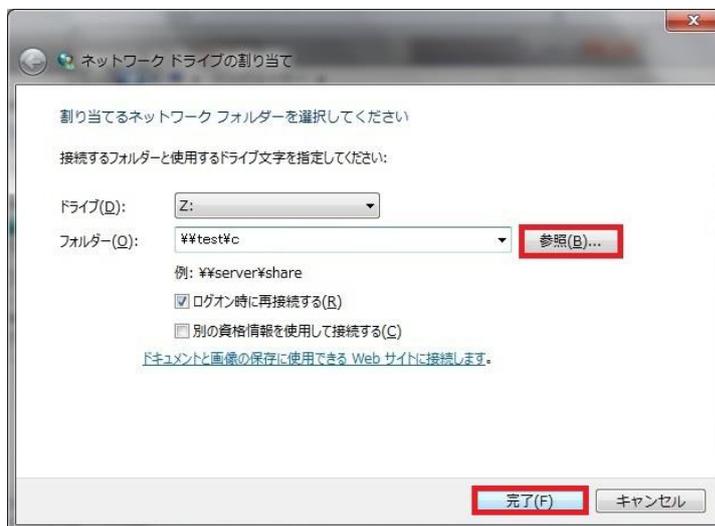
64bit プリントサーバーに、以下の手順で 32bit プリンタードライバーをインストールします。

- ① クライアント PC (32bit) の OS がインストールされているドライブ (通常は C ドライブ) を、一時的に共有するよう設定します。

- ② 「スタート」 - 「コンピューター」 - 「ネットワークドライブの割り当て」の手順で、①で共有した、クライアント PC (32bit) のドライブ (例: 「C」) をネットワークドライブ (例: 「Z」) として割り当てます。



- ③ [参照] をクリックし、クライアント PC (32bit) で共有設定したドライブを指定して、[完了] をクリックします。



- ④ プリントサーバー (64bit) に、64bit ドライバーをインストールします。

Memo

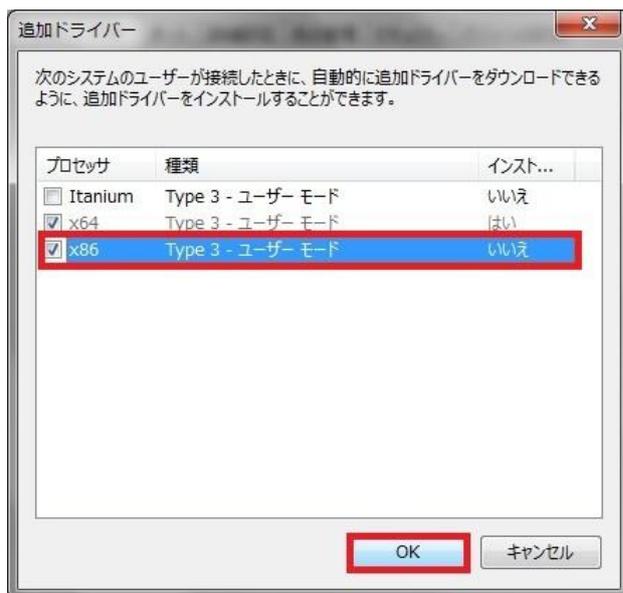
ドライバーのインストール手順については、下記 URL をご参照ください。

Windows7 : http://www.jbat.co.jp/support/hw_support/windows/windows_dw/dlsrdrv/vdrvs/Inst_Guide_Win7_WS2008R2_Rev2.pdf

- ⑤ インストールしたプリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。プリンターのプロパティ画面が表示されます。
- ⑥ 「共有」タブを選択し、「このプリンターを共有する」にチェックをつけ、[追加ドライバー] をクリックします。

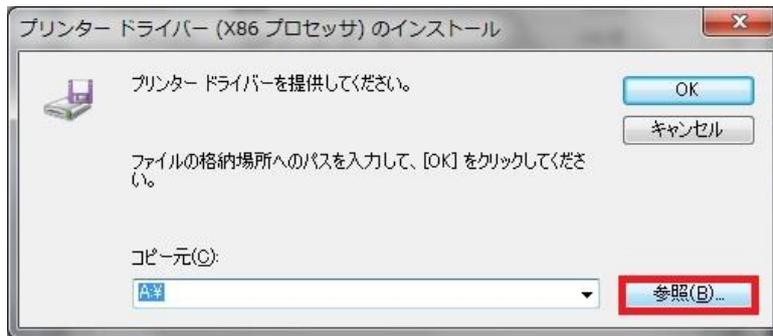


- ⑦ 追加ドライバー画面が表示されます。「プロセッサ」列の「x86」にチェックをつけ、[OK] をクリックします。



- ⑧ セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。[参照] をクリックし、32bit のプリンタードライバーのあるフォルダーを指定します。

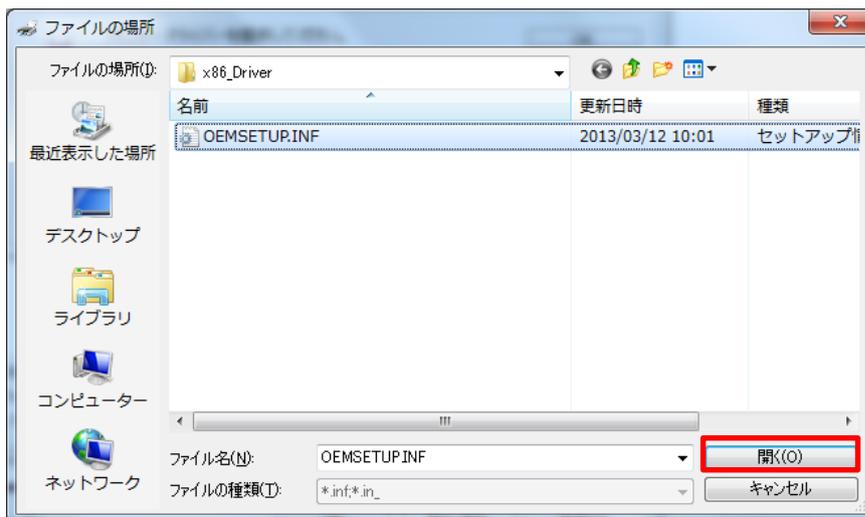
(例 : C:\temp\Download\x86_Driver)



Memo

手順.1 で解凍した 32bit ドライバーの OEMSETUP.INF があるディレクトリを参照してください。

- ⑨ プリンタードライバーにある OEMSETUP.INF ファイルを指定し、[開く] をクリックします。



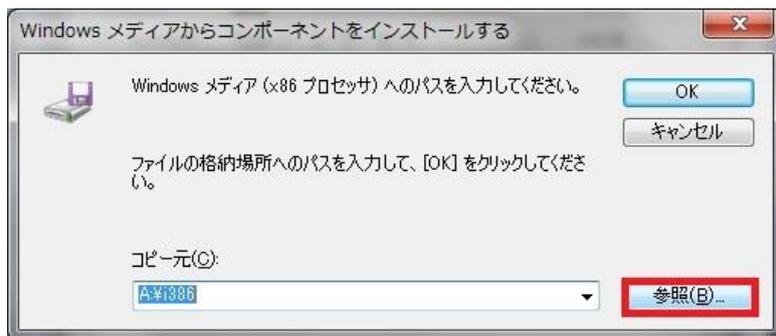
Memo

手順.1 で解凍した 32bit ドライバーの OEMSETUP.INF を指定してください。

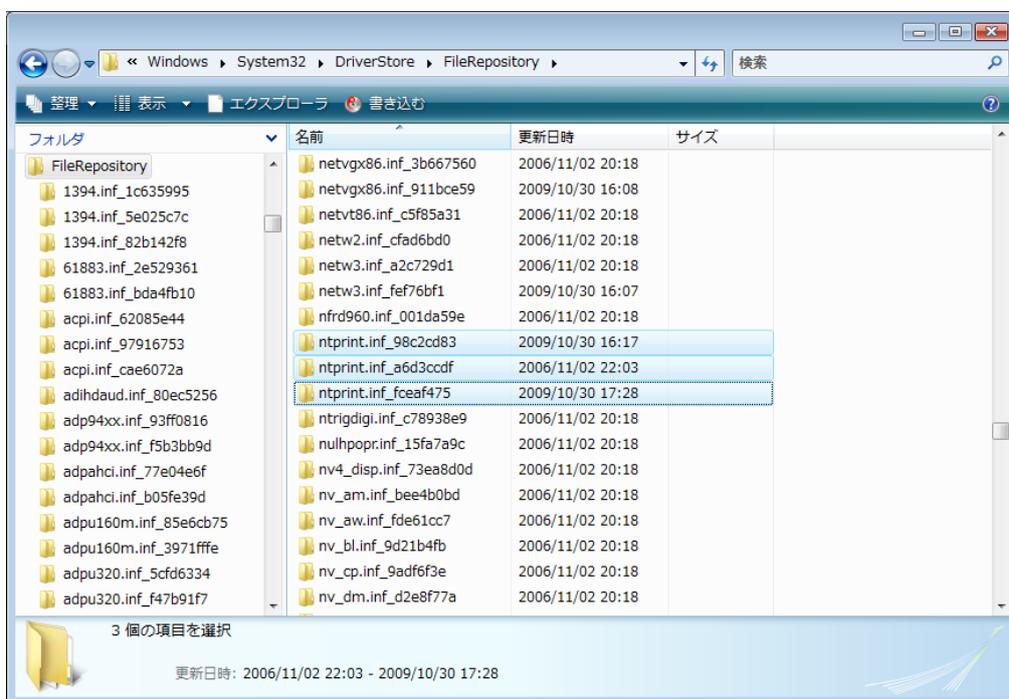
- ⑩ [OK] をクリックします。



- ⑪ コンポーネントをインストールする画面が表示されるので、[参照] ボタンをクリックします。



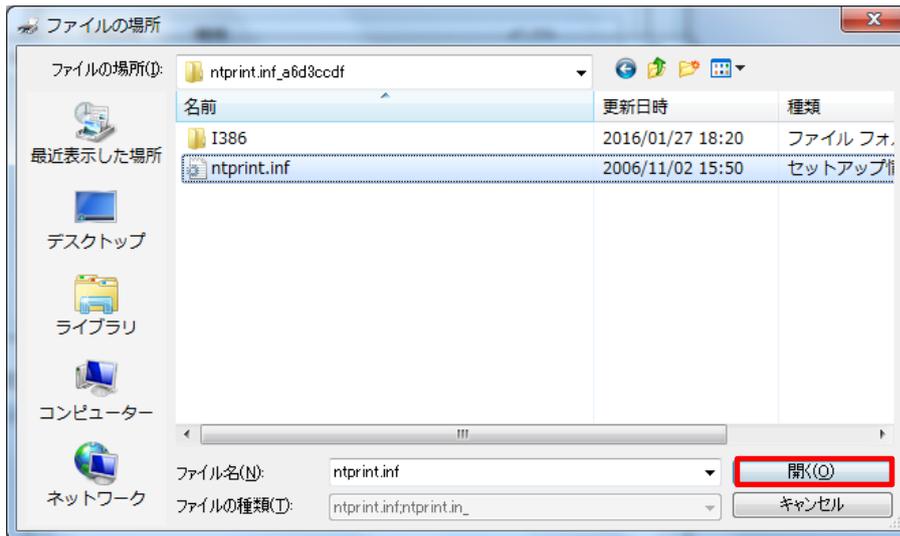
- ⑫ ネットワークドライブを割り当てたクライアント PC (32bit) にある、セットアップ情報ファイル (ntprint.inf) フォルダを指定します。



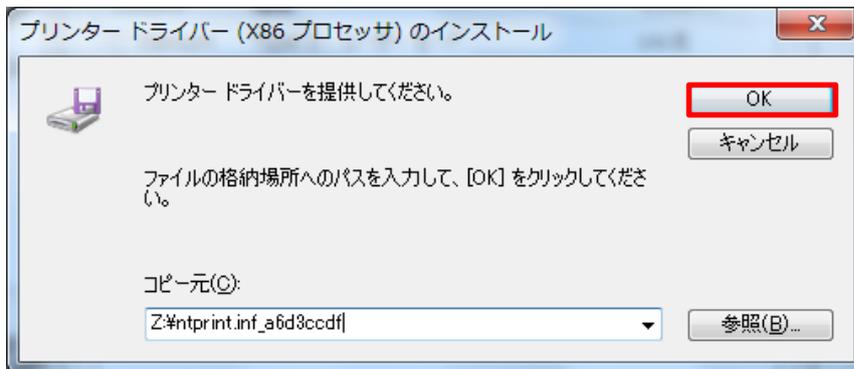
Memo

- 「Z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xxxxxxx」フォルダを参照してください。
- ※お使いのクライアント PC によっては、セットアップ情報ファイルの格納されている場所が異なる場合があります。
 - ※「Z」は割り当てられたネットワークドライブです。
 - ※「xxxxxxx」は、お使いのクライアント PC やドライバーのバージョンによって異なります。
 - ※プリンタードライバーを複数インストールしている場合、「ntprint.inf_xxxxxxx」が複数表示されますが、どのフォルダを参照しても構いません。

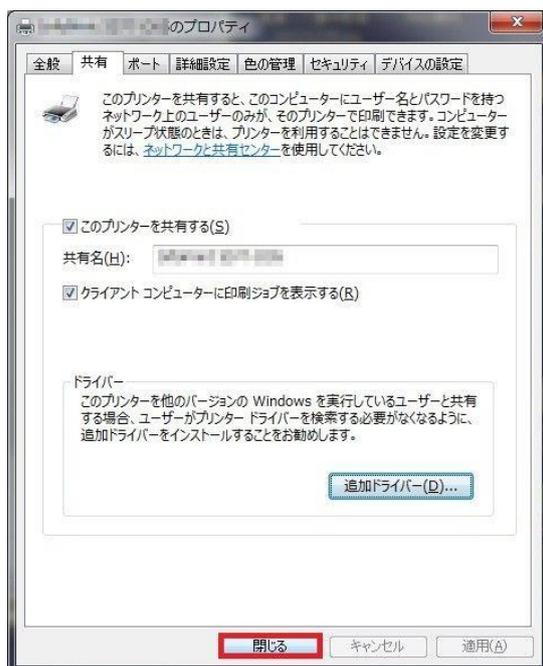
- ⑬ ntprint.inf ファイルを指定し、[開く] をクリックします。



- ⑭ [OK] をクリックします。



- ⑮ インストールが完了するとプリンタードライバーのプロパティ画面が表示されますので、[閉じる] をクリックします。これで、32bit OS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。



【補足】 下記の方法で、32bit OS 用ドライバーが追加されたかを確認できます。

- ◆ 「サーバーのプロパティ画面」の一覧に [x86] のドライバーが表示されている。
- ◆ ドライバーのプロパティの「追加ドライバー画面」で、[x86] にチェックが入っている。

